

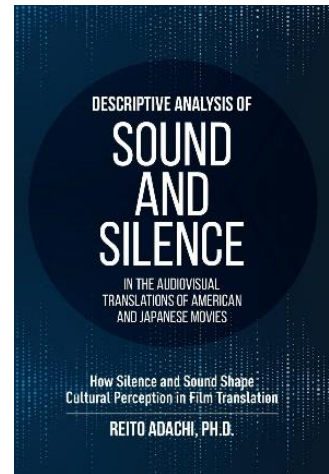
本学教員の新刊紹介: 安達学長がアメリカで新著を出版

音と沈黙から映画翻訳を読み解く意欲作

2025 年 4 月 1 日、安達励人学長の新著が、米国の学術出版社 [Brown Walker Press](#) より出版されました。

[Descriptive Analysis of Sound and Silence in the Audiovisual Translations of American and Japanese Movies: : How Silence and Sound Shape Cultural Perception in Film Translation](#)

本書は、日米映画の吹き替え版を対象に、BGM や効果音、沈黙などの非言語的要素がどう変化したかを明らかにし、その言語文化的背景や影響について考察したものです。翻訳者や研究者、視聴覚翻訳（映画やテレビ番組、ゲームなど、映像と音声を伴うメディアコンテンツの翻訳）に関心のある読者に有益な一冊です。



「沈黙の翻訳」に注目

「千と千尋の神隠し」「LEGO ムービー」「武士の一分」など、日米の話題作を取り上げ、吹き替え版における音と沈黙の脚色を比較。また、120 本以上の作品を定量的に分析し、ホラーや SF、ドラマ、アニメなどのジャンル別に翻訳の傾向を示しています。

前作からの発展

前作 [A Study of Japanese Animation as Translation: A Descriptive Analysis of Hayao Miyazaki and Other Anime Dubbed into English](#) (2012) では、日本アニメの言語的翻訳について考察しました。今回の新著では、非言語的・音響的領域に独創的なアプローチで踏み込み、視聴覚翻訳研究の新たな可能性を切り拓いています。

出版社情報

BrownWalker Press は、カリフォルニア州に拠点を置く Universal Publishers の一部門で、学術出版を手がける出版社です。同社公式サイトおよび Amazon 等で購入可能です。本学の皆様には、近日中に附属図書館にて閲覧・貸出が可能となる予定です。